

令和7年度

岩泉町立岩泉小学校報



しずがわ

令和7年度 第16号
令和8年2月20日
文責 校長 宮本 和典

まなびフェスト(家庭の取組) 年間評価

まなびフェストに掲げられている家庭の取組項目に対する保護者による4段階評価(肯定回答の割合) <n=72>

※網掛けは目標達成項目

1 「みずから学ぶ子ども」

No	項目	肯定回答(%)	
		前期	後期
1	家庭学習が習慣化するよう、家庭での学習環境(勉強する場所、時間、声かけ、確認等)を整えます。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	51	69
2	家庭で読書の時間をつくります。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	41	31

【保護者の方から】<○成果 ▲課題 □意見>

【1について】

○宿題は必ずする事が身についた。

▲声をかけるまで勉強しない。

【2について】

○好きなシリーズの本を集中して読んでることが多い。

○読書の習慣が付き、進んで読書するようになっている。

▲タブレットで短い文章は読むが、本を開く機会が少ない。

□週末に学校から借りてくる本は迷路や図鑑に偏りがちで、本人が好きのためダメとは言えないので、図書館で一緒に本を借り、シリーズものや親のオススメを見られるようにしている。ただ、読んで!と話しても読まないの、親子で一緒に見る、お互いが自分の読みたい本を10分読むなど読書環境を整えるために工夫している。

【1・2について】

▲宿題や読書は自宅ではしないことが多い。

▲1、2どちらも主体的ではなく言われてやっている。

□1、2とも、自主的に始めるのが難しいことが多いですが、興味のあることに関しては比較的導入がスムーズに思う。先ずは子供が集中できる15分~20分程でいいので決まった時刻に開始できるよう取り組んでいきたい。

2 「思いやりのある子ども」

No	項目	肯定回答(%)	
		前期	後期
3	家庭内でも、お互いに明るい挨拶を交わし合います。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	92	92
4	自己肯定感を育むことを意識した前向きな声かけを心がけます。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	81	68

【保護者の方から】<○成果 ▲課題 □意見>

【3について】

○挨拶はきちんとしてほしいので、家族間で意識して実施するようにしている。

○あいさつに関しては、自然にできているように思う。

【4について】

○いいことは誉めるように意識している。

▲親もイライラした声掛けになることがある。

□父と母で関わり方、声かけのスタンスが違い、子どものやる気を引き出せないときがある。子どもの経験(やる気)を奪ってしまうような関わり方を減らしていきたいが、父は目につく失敗をさらに追い込むように話してしまい、夫婦間でよく話し合いの機会をつくっている。以前よりは改善されてきた。

【3・4について】

○元気いっぱい話をする。

○祖父母と同居しているので、挨拶や声掛けをたくさんしてもらえる。

3 「身体をきたえる子ども」

No	項目	肯定回答(%)	
		前期	後期
5	体を動かす機会をつくり、励ましたり、見守ったりします。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	85	73
6	メディア利用について、家庭の約束を決め、守られるよう声をかけます。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	73	61

【保護者の方から】<○成果 ▲課題 □意見>

【5について】

- 休日は兄弟で外で、遊ぶ（体を動かす）様に声かけしている。
- 寒さが厳しくなってきたので外での運動が少なくなり、家の中にテープで線をひいて、それを様々な跳び方で跳んでいる。始めのうちは体幹もなく、リズムもバラバラだったが少しずつ変化が見られている。短時間でできる場所も取り組みやすい。
- 寒くなりなかなか体を動かす遊びも難しくなってきましたが、できる範囲で体を動かす機会をつくろうと思っている。
- ▲家族でBG等で運動したり一緒に散歩に出ることはあるが、習慣化されておらず、間が空いてしまう。

【6について】

- 自分で決めたルールの中で、メディアを使っている。
- ▲自由に見ている。
- スマホ、ネットは子供は使っていない

学校経営に関わる評価項目について

<数値の見方> 学校経営計画に掲げている項目に関する保護者による4段階評価における肯定回答の割合 <n=72>

No	項目	肯定回答(%)	
		前期	後期
1	学校は、学習や生活の様子などを学校だよりや学級通信、連絡帳などを通して伝えている。 ※保護者アンケート80%以上	94	85
2	学校は、登下校の交通安全などの安全指導を行っている。 ※保護者アンケート80%以上	91	96
3	学校は、外部の人材や環境を生かした教育活動に努めている。 ※保護者アンケート80%以上	89	85

○学校は、学習や生活の様子などを学校だよりや学級通信、連絡帳、懇談会などを通して伝えている。

2学期の学級懇談会は、熊出没に係る危機対応のため実施できずでしたが、3学期に時間を確保し、情報共有できたことはとてもよかったです。しかしながら、参加率に課題も残されました。魅力と必要性のある懇談会が開催できるような学校でも尽力して参ります。紙媒体やデジタル通信のみの広報活動に偏らず、直接皆様と対話できる機会を少しでも設定できたらと考えております。保護者の皆様も学校側も負担感をもたずに情報共有できる場を今後も模索して参ります。なお、お電話での情報共有や学校やご家庭での面談も必要とあれば行っております。

○学校は、登下校の安全などの安全指導を行っている。

2学期は熊対応に翻弄された学期となりました。保護者の皆様の全面的なご協力のおかげで子供たちを無事通学させることができました。本当にありがとうございました。仕事の合間をぬって迎えに来てくださったお家の方。有給休暇を利用したり、お仕事を休んだりしてまで対応してくださった方。頭が下がる思いでした。我々教職員も試行錯誤しながらの対応でしたが、皆様からのあたたかい言葉に勇気付けられました。「熊等の対応が大変だったと思いますが、適切に対応いただきありがたかったです。」「クマのこともあり不安になる時期だったが、しっかり分かりやすく対応していただき、こちらもどう行動していいのかが分かりやすく助かった」等の声に励まされました。決して万全な対応ではなかったかも知れませんが、それでも皆様から支えられている実感をもつことができました。今回の経験を無駄にすることなく、今後も危機管理マニュアルに則り、児童の安心、安全を第一に考えた安全指導を行っています。

○学校は外部の人材や環境を生かした教育活動に努めている。

主に生活科や社会科見学、総合的な学習の時間では、地域の皆様のご協力のもと学習を深めることができました。今年度より地域コーディネーターの設置があり、試行錯誤しながら校外学習や行事等においてお手伝いいただきました。来年度はより効果的に地域と学校を橋渡ししていただけるよう計画していこうと考えています。学校教育目標の達成を目指し、各学年の年間指導計画や児童の実態に応じた外部講師を招いた学習や、外部の人材や環境を生かした活動を積極的に進めていきます。